

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	病理学1 (Basic Pathology)		
ナンバリングコード	S20104	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル コース共通
単位数	1	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S000451	クラス名	-
担当教員名	長濱 純二		
履修上の注意、 履修条件	受講前後に講義内容についての予習・復習を必ず行うこと。 遅刻や私語など、講義の妨げとなる行為をした学生には退室を命じるとともに、その日の出席を無効とする場合があります。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学(大橋 健一他、医学書院)		
参考文献及び指定図書	標準病理学(坂本穆彦他、医学書院) わかりやすい病理学(恒吉正澄他、南江堂)		
関連科目			

○基本情報		
授業の目的	病理学とは、病気がどのようにして起こり、その結果、人の体組織がどのように変化しているのかを追及する学問であり、臨床医学と基礎医学の橋渡しとして基礎的な役割をする学問領域である。「病理学1」では、病理学の概要について総論として学んでいく。正常な人間の構造と機能を理解したうえで、疾患の原因・発生機序・病態について理解し、組織でどのような形態学的変化としてみられるのかを学修する。	
	病理学とは、病気の原因、病気の発症・進展の過程、患者に対する影響などを明らかにする学問であり、基礎医学と臨床医学を橋渡しする学問である。本科目では、全体的な視点から疾患の概念や仕組みについて理解し、細胞・組織の障害と修復、物質代謝障害、循環障害、炎症、感染症、腫瘍などについて形態学的並びに機能的変化を通して病理学の概論を学修する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	科目担当者は細胞検査士としての30年以上にも及ぶ病理検査実務経験をもとに、現場に則した病理学の授業を展開する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。		5点	
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	90点	5点	
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
課題レポート等(10 %)と定期試験(90 %)で評価を行います。 期末試験を受けるためには3分の2以上の出席が必要です。 課題等のフィードバックは、次回以降の授業内等で適宜行います。				

○その他
講義はup-to-dateなものとするため、講義日程を変更する場合があります。 進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合があります。 講義内容についての質問・要望等は、講義前後に教室で受け付けます。 学習相談は、授業終了後もしくはオフィスパワーの時間に担当教員の研究室に来てください。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	病理学1 (Basic Pathology) 長濱 純二	授業コード	S000451
学修内容				
1. 病理学の概要、病理組織検査と細胞検査や病気の原因について 病理学の概要、病理組織検査と細胞検査や病気の原因について学修する。				
予習	病気の内因や外因・発生機序について予習する			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間
2. 細胞・組織の障害と修復および各種疾患と病理像について 細胞損傷の原因と機序、細胞の適応現象や、損傷により生じる変性と死、組織の損傷に対する生体防御反応としての炎症と修復、創傷治癒について学修する。				
予習	細胞・組織の障害と修復および各種疾患と病理像について予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間
3. 物質代謝障害の病態と各種生化学的検査について 肥満や動脈硬化症、脂質異常症、糖尿病、痛風など、代謝障害によって生じるおもな疾患について学修する。				
予習	物質代謝障害と各種生化学的検査について予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間
4. 循環障害と生理学的検査について 浮腫・充血・うっ血・出血・血栓症・塞栓症・虚血・梗塞・側副循環による障害のほか、高血圧症、播種性血管内凝固症候群(DIC)、全身性循環障害としてショック、臓器不全などについて学修する。				
予習	循環障害の病態について予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間
5. 炎症と退行性病変について 肉芽組織と瘢痕組織、一次治癒・二次治癒の違い、肉芽腫性炎などの形態学的特徴について学修する。				
予習	炎症について予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間
6. 免疫と血清学的検査について 生体の防御反応や免疫反応がもたらすアレルギーや自己免疫疾患などについて学修する。				
予習	免疫と免疫機構の異常について予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間
7. 感染症と細菌学的検査について 病原体の分類、感染経路、宿主の感染防御機構、菌交代症、薬剤耐性菌、医療関連感染について学修する。				
予習	感染症の原因や分類について			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間
8. 腫瘍(悪性新生物を含む)について がん腫と肉腫の違い、悪性腫瘍と良性腫瘍の違い、がん転移の過程とその経路、早期がんと進行がんの違いなどについて学修する				
予習	腫瘍について予習する。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめ復習する。			約2時間

○授業計画	科目名	病理学1 (Basic Pathology)	授業コード	S000451
	担当教員	長濱 純二		
学修内容				
9. 期末試験				
予習 復習				
10.				
予習 復習				
11.				
予習 復習				
12.				
予習 復習				
13.				
予習 復習				
14.				
予習 復習				
15.				
予習 復習				
16.				
予習 復習				